

県議会補正予算内示 ... 雇用創出事業の追加 5億2800万円ほか

県民生活守る予算を

一般会計の補正13億
3900万円

14日、県議会9月定例会の予算内示が行われました。一般会計9月補正予算額は、13億3900万円、補正後の累計予算額は6026億8800万円となります。主な内容は、景気・雇用対策の一層の推進として、雇用基金活用の雇用創出事業の追加実施5億2800万円、農業水利施設等の緊急整備、社会福祉施設の環境改善、県立高校の耐震補強工事などの整備があげられています。



2010年9月19日
第104号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3231(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

整備に向けた用地測量調査等に関する経費が盛り込まれています。

私立高校生への助成
経済悪化で対象者が
増加

今年度から新制度となった私立高校生への助成は、所得により確認された対象者が、県の見込みより大きく増加し、約8600万円(就学支援金3925万円、授業料軽減事業費補助金4656万円)の増額補正となっています。県独自の授業料軽減事業については、当初は昨年ベースで約2000人強の対象者を見込んでいましたが、7月の確認では

児童相談所一時保護所の整備検討費が盛り込まれる

党県議団が提起

補正予算の中には、児童相談所一時保護所等の老朽化に伴う改築に向けた検討のための事業費が計上されています。これは今年6月の県議会で、党県議団がそれぞれ所属する常任委員会、特別委員会で問題提起したものです。



大門参院議員が講演 どうする景気・雇用、財政再建と安全保障

2785人となっており、特に250万円未満の世帯所得の人が増加しています。経済状況悪化のあらわれと思われま。

共産党・笹山県議団長が
一般質問を行います



28日 火

当日2番目で、午前11時頃からの予定です。

どうぞ傍聴においでください。

(県議会9月定例会は21日開会)

山形、鶴岡2会場で
山形、鶴岡でそれぞれ230人が参加しました。

山形市と鶴岡市で11日、先の参院選で再選を果たした大門実紀史参院議員が講演し、最近の政治経済をめぐる情勢について、緊張感いっばいの国会論戦を交えながら縦横に語りました。

(右)講演する大門参院議員
(上)大門議員へ拍手を送る参加者=9月11日、鶴岡市

少人数学級 国民要求実現へ

ゆり子の視点

文科省が、7月の中央教育審議会(中教審)の提言をふまえて、来年度概算要求に少人数学級推進経費を盛り込んだことが報道されています。

少人数学級の効果については、先駆けて独自に取り組んできた山形県の実証研究もあり、文科省が推進方向を示すうえで少なからず影響を与えたと思います。何より、長年の国民要求の強さと全国各地の継続した運動の力です。

日本共産党も、関係者の運動と結んで、国会、地方議会でも取り上げてきました。しかし、国としては、やっとスタートラインに立とうとしている時点です。確実に少人数学級に移行するため、学級編成の標準(現行40人1学級)を引き下げ、教職員を確保し、財政措置をしていくことが求められています。

